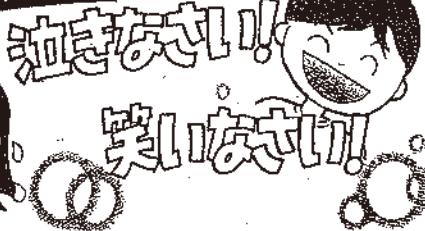


日進月歩

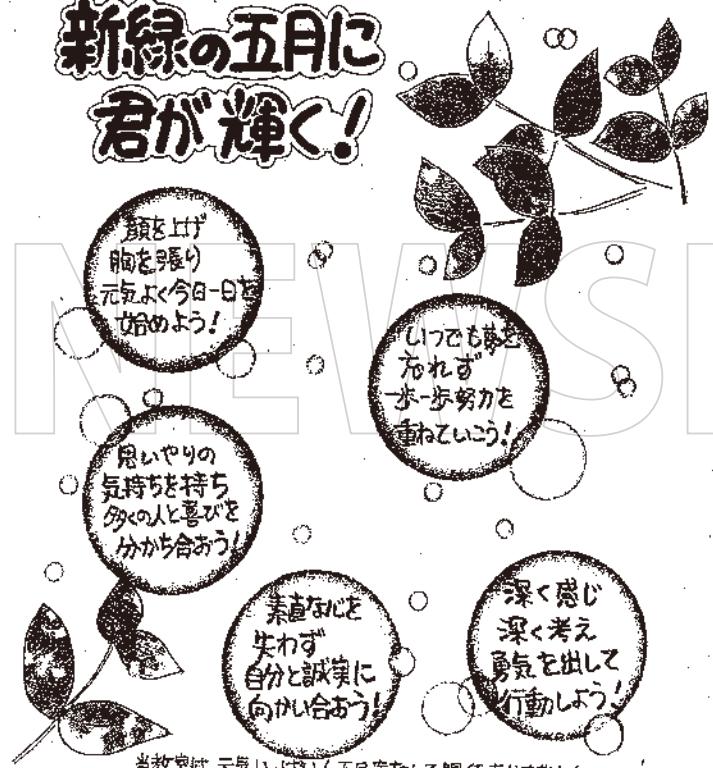
VOL. 186

発行 日進塾

塾長からのメッセージ！



新緑の五目に 君が輝く！



当教室は、元気いっせい！ 五月病なんて関係ありません！

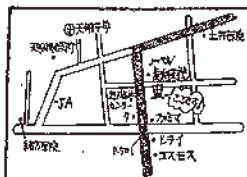
人には、楽しくて樂しくて笑顔が絶えない時もあります。悲しくて悲しくて涙が止まらない時もあります。

人が生きていくということは、喜怒哀樂の繰り返しなのかもしれません。

それは、春夏秋冬の四季のようなものです。美しい花の咲きもそれる季節があれば、すべてのものが死んだように凍り付く季節もあります。五月の若葉の季節には二月の裸の木々は嘘のようにも感じられます。

君が君の人生を懸命に生きている限り、希望に満ちた笑顔の時もあります。悲しくて暗い顔の時もあります。大きな喜びも大きな悲しみも、必ず体験するのは君が君の人生を何より懸命に誠実に生きているからです。喜びも悲しみも君の人生の宝物なのです。

光り輝く五月、君は笑い、時には少しの涙も流してください。もちろん私が大好きなのは君の明るい笑顔です。



日進塾

096(223)3151

HP <http://www.nishinjuku.com/>

白壁田で営業

5月の空に強くはばたけ こいのぼり

鯉のぼりには、人生の中で遭遇する苦難を乗り越え、健やかな成長を願う皆さんご両親の親心が込められています。

鯉の数！

江戸時代の鯉のぼりは和紙に鯉の絵を描いた真鯉一匹だけでした。大正時代になり破れないよう綿を伸ばして作られるようになり昭治に入ると角鯉と対で揚げられるようになりました。昭和30年代になると家庭を表す子鯉も加わり、家族中誰を願い3つの鯉が仲良し空を泳ぐようになりました。

鯉のぼりの由来と伝説！

中国の黄浦江上流に竜門という激流が遙なる瀧があります。その瀧を登り切った魚は豊力が宿ると言われていました。そして、一匹の鯉が激しい瀧水に逆らひながらついに竜門を登り、龍は奇に変身し天に昇つて竜という話です。中国では竜は皇帝の象徴であり縁起のいいものとされています。この伝説を元に立身出世のシンボルである鯉がのぼりとして揚げられるようになりました。また「登竜門」という言葉もこの故事から生まれました。

吹き流し！

鯉のぼりの一番上で泳ぐのが吹き流し！ 今では様々な絵柄が描かれたものも出回っていますが元は5色の色が使われていました。古来中国の「五行説」では万物は木・火・土・金・水で成り立つと言われ、これら5色をそれぞれの色で表しています。5色の色を使っています。そして一番上に揚げられていました。

鯉のぼりを揚げない町！

不幸になるからと鯉のぼりを揚げない所があります。埼玉県神川町大字地区では昔親戚の敵となる平井門がここに揚げ込んだが仔供を揚げていた鯉のぼりが殺され、所が新たに殺された鯉のぼりを揚げると子供があると言わゆる鯉のぼりを揚げる家がないのです。

で、ペんのクルクル！

最上部でクルクルと回るのは矢車と回転球！ 回転球は天球と言え、神が陸と海の印。また矢車は武将の持つ弓をデザインしたものだそうです。回転する時にカラカラと出る音も魔よけの意味を持ったと言われています。

さあ！ 君たちも
こいのぼりに込められた親心を受け止め大きくはばたこう！！